

令和2年度 第4回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

- ・ 審議会等名 令和2年度 第3回下野市生涯学習推進協議会議
- ・ 日 時 令和2年11月27日（金）午前9時30分～11時30分まで
- ・ 会 場 下野市役所3階 301・302会議室
- ・ 出 席 者 鈴木健一会長、菅井貞雄副会長、設楽孝男委員、谷萩昌道委員、下山千恵子委員、
榆木久美子委員、小島和吉委員、松本文男委員、野口俊明委員、大垣玉枝委員
（事務局）池澤勤教育長、篠崎正代生涯学習文化課長、浅香浩幸課長補佐、漆原聡主
査、本橋優花主事
- ・ 公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)
- ・ 傍 聴 人 なし
- ・ 報道機関 なし
- ・ 議事録（概要）作成年月日 令和2年12月21日

【協議事項等】

1. 開会

2. 会長あいさつ（鈴木会長）

いよいよこの計画の内容も詰まってきた。本日は議題が2つあるが、2つ目に「下野市生涯学習推進本部長への答申」がある。これはこの協議会が答申するものなので、審議をお願いしたい。計画の案についても事務局で私たちの意見を大分取り入れてもらった。こちらについても意見を伺いたい。

3. 教育長あいさつ（池澤教育長）

連日の報道でもあるように、いつ何時、新型コロナウイルスの感染者が出てもおかしくないような状況が続いている。最大限の注意を払って対応していきたい。幸いにも市内の小中学生から感染者は出ていないが、ほっとする暇はないと認識している。この計画については1月にパブリックコメントという形で市民の皆さんにお示しする。本日の会議が大変重要なものになってくるかと思う。審議のほど宜しくをお願いしたい。

4. 議題

（事務局）議題の進行は会長にお願いする。

（1）第三次下野市生涯学習推進計画（案）について

（鈴木会長）この案も、会議ごとにバージョンアップしてきている。さらに広い立場からご意見を頂戴したい。これは推進本部が作成するものではあるが、市民の皆さんの意見が入れられるように自由な発言をお願いしたい。答申案はこの協議会から出すので、一番責任があるものである。これは重要な案件であるので、議決という形を取りたい。皆さんのご賛同をお願いしたい。今までこの会議の中で議決事項は1つだけあった。計画案の基本構造・骨組みである。それで決まった骨組みを基に、事務局で各課と連絡しながら案の作成を進めてもらった。その基本的な考え方は答申でまとめることになっている。今まで皆さんから出てきたお話し等を含め、更なる審議をお願いしたい。

(事務局) 資料に基づいて説明。

(大垣委員) 30ページの「障がい者等への生涯学習の支援」の「等」が何を意味しているのか疑問であった。先ほど事務局より、保護者や家族のことであるという説明を聞いたが、少し分かりづらいと思う。

(谷萩委員) 欄外に注釈を入れてはいかがか。

(事務局) そのように変更する。

(2) 下野市生涯学習推進本部長への答申(案)について

(鈴木会長) 下野市生涯学習推進本部設置要綱第2条によると、所掌事項として、「生涯学習推進計画の策定に関する事」とある。計画の策定は本部で行う。では、我々は何をやるのかというと、下野市生涯学習推進協議会設置要綱第2条にあるように、「下野市生涯学習推進計画に関する事」である。推進に関する色々な意見や提案を行うということである。各団体からの要望もこの協議会で取りまとめることもできるかもしれない。計画の策定そのものは推進本部(市)で行うものであるが、「第三次下野市生涯学習推進計画の策定について」という諮問をこの協議会が受けた。諮問内容を読むと「これからの本市の生涯学習の在り方や具体的施策等に対して貴協議会のご意見を伺う」となっている。この「在り方や具体的施策等」というのは生涯学習に関する考え方や基本的な目標のことだと思う。そして、今までこの協議会で何をやってきたかということ、市民アンケートの結果をどのように活かせるか・第二次計画の評価はどうか・新しくこのような取り組みをやってみたいのではないかと議論してきたところである。ただし、第二次計画をひっくり返すようなことはできないので、我々としては第二次計画の改善を目指して今まで検討してきたところである。既に色々な意見をいただいているので、それをまとめたのがこの答申案ということである。

(事務局) この会として提出する答申案を読み上げる。内容については、この会で議論してきた主なものとなる。

(菅井委員) (3)の「学びを基盤とした地域づくり」の内容が、「地域づくり・まち(地域)づくり」と、「地域」が重複している。

(事務局) 誤字なので、修正する。

(鈴木会長) 「市民の資格取得に際する助成制度の拡充についても検討されたい」と明記されたのは意義があることである。昨今、このような時代なので職業等に関する事は非常に重要なことである。自己責任で「自分のことは自分でやろう」という考え方もあるが、なかなか自身で動き出せない方もいる。これは時代の要請に沿った内容だと思う。図書館や公民館講座も、何かのきっかけになれば良い。また(1)の「グリムの里」や「東の飛鳥」も下野市らしい。歴史のまち・下野を意識したことだと思う。外国人の方・障がいを持つ方・性的少数者等と具体的に記載してあるのは良いが、「社会的包摂」という言葉は少し難しい印象を受ける。社会的という言葉は良く使うが、包摂という言葉は普段なかなか使わない。専門的である。

(池澤教育長) 分かり易い言葉のほうが良い。「様々な人たちとの共生の観点から」など。

(事務局) そのように変更する。

- (池澤教育長) 2段目の「記」は「提言」にするのはいかがか。この会議で提言する内容が明確になってくる。
- (一 同) 異議なし
- (事務局) そのように変更する。
- (設楽委員) 諮問では「具体的施策等」と記載されているが、答申では「基本的施策等」と記載されている。
- (鈴木会長) 推進本部で策定する計画はアクションプランなのでできるだけ具体的な施策である。我々に求められた「具体的施策」とは基本的な理念・考え方なので、答申は「基本的施策等」が良いと思う。
- (谷萩委員) 提言の2の(1)に「『グリムの里』や『東の飛鳥』を積極的に活用し、文化による地域への愛着を醸成されたい」とあるが、これは2つの構想のことか。それとも施設の活用ことを意味しているのか。
- (鈴木会長) 「グリムの里づくり」の方が適切かもしれない。
- (池澤教育長) 市では旧シュタインブリュッケン(現ディーツヘルツタール)との交流や中学生の派遣等の国際交流を行っている。第三次計画案の32ページの施策目標1「豊かな文化を育むための学習活動の充実」の(1)「文化芸術活動に関する学習」においては「グリムの里づくり」という言葉を使用している。また(2)「市内の文化遺産の保存と活用に関する学習」では「下野市文化財保存活用地域計画」がある。この計画の総称が「東の飛鳥プロジェクト」である。ついては、答申も「グリムの里づくり」と「東の飛鳥プロジェクト」とした方が良い。その方が分かり易い。谷萩委員のご指摘はもっともである。
- (一 同) 異議なし。
- (鈴木会長) では、そのように追加していただきたい。
- (谷萩委員) また、「本市の特色でもある」ではなくて「本市の特色である」に変更した方が良いのではないか。
- (一 同) 異議なし。
- (鈴木会長) 下野市成立から15年も経つ訳なので、今さらということもあるが、グリムの里づくりは石橋、東の飛鳥は南河内・国分寺ということになる。旧3町バランス良く入っているので下野市全体の計画としては面白い。グローバル化にも対応し、地元の文化をもう一度見直してみるというのは長い間の懸案であった。答申のほうはこのあたりでよろしいか。ちょっとした字句の訂正の方は私にお任せいただき、事務局と相談しながら、委員の皆さんの趣旨を曲げないようにやらせていただく。重要なことであるので、議決を取りたいと思う。この「第三次下野市生涯学習推進計画の策定について(答申)」の内容で市長へ答申してよろしいか。賛成の委員の方は挙手を願う。
- (一 同) 挙手全員
- (鈴木会長) 全員の賛同を得られたので、これで市長に答申させていただく。ざっと第三次計画を見て、他に意見はあるか。
- (事務局) 2ページの生涯学習の概念図の中の、「家庭(地域)教育」の(地域)は削除させていただく。また3ページには(1)SDGs(2)第3期教育振興計画(3)人口減少

時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）、とあるが、少し唐突なので（１）国連のSDGs（２）国の教育振興計画（３）中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」と変更させていただく。併せて、４ページの栃木県生涯学習推進計画であるが、現在、県も次期計画を策定中である。名称が「とちぎ輝き『あい』育みプラン」から「とちぎ学び 輝きプラン」になるので、そのように変更する。

（鈴木会長）市民へのパブリックコメントの実施により、これは修正せざるを得ないという意見があったらどのようなになるのか。

（事務局）意見の内容にもよる。大きな変更あるいは委員の皆さんの検討が必要な場合は臨時の会議を開催することもあり得る。字句の訂正のような軽微な変更の場合は、会長一任として、事務局と調整させていただきたいと考えている。

（鈴木会長）２５ページの第三次計画の目的と理念・基本方針について、「統計データ、アンケート調査結果から把握した本市の特徴と課題を踏まえ」とあるが、我々のこの推進協議会の協議内容についても触れていただきたい。

（事務局）検討する。

（菅井委員）３９ページの生涯学習に関する各課のお知らせであるが、下野市防災ラジオのチラシはFMゆうがおに変更しても良いのではないか。

（鈴木会長）そのようなことも含め、事務局で検討いただくということによろしいか。

（一同）異議なし。

5. その他

（事務局）１月に市民の皆様へパブリックコメントを実施する。２月下旬から３月に生涯学習推進本部会議を開催し、第三次生涯学習推進計画が決定する。最終的には教育委員会や議会にも報告する。この会議については、２月から３月にもう一度開催させていただく。

6. 閉会